マレーシア三菱東京 UFJ 銀行によるイスラム債(スクーク)の発行プログラム設定について

株式会社三菱東京 UFJ 銀行(頭取 平野 信行)の現地法人であるマレーシア三菱東京 UFJ 銀行は、本日、日系の商業銀行として初めて、マレーシアにおいて多通貨での起債が可能なイスラム債の発行枠(5億米ドル相当額のマルチカレンシースクークプログラム)を設定いたしました。

本プログラムの設定により、マレーシア三菱東京 UFJ 銀行は、米ドル、マレーシアリンギットおよび日本円を含む多通貨でのイスラム債の発行を 10 年間にわたり行うことが可能となります。初回発行については、投資家の需要動向やマーケット環境等を踏まえたうえで、適切なタイミングでの発行を検討してまいります。イスラム債の発行により調達した資金は、今後大きな伸びが期待されるイスラム金融方式の貸出に充当する予定です。

【マルチカレンシースクークプログラムの詳細】

プログラム発行枠: 5億米ドル相当額 設定日 : 2014年6月5日

プログラム期間 : 10年間

プログラム格付 : AAA(bg) / 安定的 (マレーシア国内基準)

マレーシアの格付機関 RAM Rating Services Berhad より取得

保証人 : 三菱東京 UFJ 銀行

主幹事: CIMB インベストメント・バンク、三菱 UFJ セキュリティーズインター

ナショナル、マレーシア三菱東京 UFJ 銀行

マレーシア三菱東京 UFJ 銀行は、2008 年にマレーシア中央銀行から外貨建てのイスラム金融業務に係るライセンスを取得し、専門部署を設置して以降、イスラム金融に係るサービスの提供を行うことにより、着実に実績を積み上げてまいりました。また、日系の商業銀行では唯一、自前のシャリアコミッティ(*)を有し、イスラム金融業務に取り組んでおります。

(*) イスラム法学者で構成され、取引がイスラム法に合致するかを判断する委員会です。

三菱東京 UFJ 銀行とマレーシア三菱東京 UFJ 銀行は、イスラム債の発行を機に、イスラム金融のさらなる発展に貢献するとともに、マレーシアのみならず、その他のアジア・中東等のイスラム教国で急速に拡大するお客さまのイスラム金融ニーズにお応えすべく、さらなるサービスの拡充に努めてまいります。